

議案第 6 3 号

明石市営水道事業における利益の処分に関する条例の一部  
部を改正する条例制定のこと

明石市営水道事業における利益の処分に関する条例の一部を改正する条例を次の  
ように制定する。

令和 5 年 9 月 5 日提出

明石市長      丸    谷    聡    子

明石市営水道事業における利益の処分に関する条例の一部を改正する条例

明石市営水道事業における利益の処分に関する条例（昭和 3 1 年条例第 9 号）の一部を次のように改正する。

改 正	現 行
<p>（利益の処分）</p> <p>第 2 条 市営水道事業は、毎事業年度利益を生じた場合において前事業年度から繰り越した欠損金があるときは、その利益をもってその欠損金を<u>埋め</u>、なお残額（以下この条において「補填残額」という。）があるときは、補填残額の 4 分の 1 以上を減債積立金に、4 分の 1 以上を建設改良積立金に、<u>4 分の 1 以上を利益積立金に</u>それぞれ積み立て、残余の額は翌事業年度に繰り越すものとする。</p> <p>2 （略）</p> <p>3 第 1 項に規定する積立金は、次の各号に掲げる積立金の区分に応じ、当該各号に定める目的のため積み立てるものとし、当該各号の目的以外の用途には使用することができない。</p> <p>（1） （略）</p> <p>（2） 建設改良積立金 <u>建設又は改良に要する経費</u>に充てる目的</p> <p><u>（3） 利益積立金 欠損金を埋める目的</u></p> <p>4～5 （略）</p>	<p>（利益の処分）</p> <p>第 2 条 市営水道事業は、毎事業年度利益を生じた場合において前事業年度から繰り越した欠損金があるときは、その利益をもってその欠損金を<u>うめ</u>、なお残額（以下この条において「補填残額」という。）があるときは、補填残額の 4 分の 1 以上を減債積立金に、4 分の 1 以上を建設改良積立金に_____</p> <p>_____それぞれ積み立て、残余の額は翌事業年度に繰り越すものとする。</p> <p>2 （略）</p> <p>3 第 1 項に規定する積立金は、次の各号に掲げる積立金の区分に応じ、当該各号に定める目的のため積み立てるものとし、当該各号の目的以外の用途には使用することができない。</p> <p>（1） （略）</p> <p>（2） 建設改良積立金 <u>建設改良工事</u>に充てる目的</p> <p><u>（新 設）</u></p> <p>4～5 （略）</p>
<p>備考</p> <p>1 改正部分は、下線の部分である。</p> <p>2 改正の欄に「（削 る）」とある場合は、現行の欄の改正部分を削る。</p> <p>3 現行の欄に「（新 設）」とある場合は、改正の欄の改正部分を加える。</p>	

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

（提案理由）

本案は、水道事業の安定的な経営を行うため、毎事業年度に生じた利益の処分に関して所要の整備を図ることにつき、条例の一部を改正しようとするものである。